

# にしわが 福祉だより

編集・発行：社会福祉法人 西和賀町社会福祉協議会

〒029-5614 西和賀町沢内字太田1-30

TEL 0197-85-3225 FAX 0197-85-3234

E-MAIL info@nishi-shakyo.net

Homepage <http://nishi-shakyo.net/>

福祉だよりは赤い羽根共同募金の配分金で発行しております。

No.75 2021.11.15



じぶんの町を  
良くするしくみ。

九月四日（土）に岩手県総合防災訓練が北上・西和賀地区で実施され、社会福祉協議会では、災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を行いました。

未明から続く大雨により和賀川上流部の西和賀町で土砂崩れが発災し湯田小学校に設置したという想定で行いました。

コロナ禍により感染症対策を行いながらフェイスシールドの着用、ボランティアの検温、手指消毒の徹底を図りながらのロールプレイを行いました。ボランティアの受付、ニーズのマッチング、資材の準備と一通りの流れを確認することができました。

実際に体験してみた感想として受付で記載する書類の多さに滞在する時間が長くなってしまい職員やボランティアの不安を煽ることになってしましました。また、職員一人一人がロールプレイを行うことで実際に災害ボランティアセンターの設置・運営

の際に迅速な対応や被災者の心に寄り添えるような対応ができるのではないかと感じています。

今後も大規模な災害に対応できるよう準備を進めていきます。



災害ボランティアセンター  
設置・運営訓練

**十一月一日から**

**歳末たすけあい募金に  
協力ください**

**目標額は一、四四〇、〇〇〇円です**

『歳末たすけあい運動』は、共同募金運動の一環として、地域住民やボランティア、民生児童委員、社会福祉施設、社会福祉協議会等の関係機関・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や理解を得て様々な活動を重点的に展開するものです。

歳末たすけあい募金運動は十二月一日から十二月三十一日まで行われます。趣旨をご理解いただき、ご協力願います。

なお、昨年度は生活困窮世帯二十八世帯三十三件、〇〇〇円、在宅介護・障がい者世帯五十一件二五五、〇〇〇円、母子父子世帯二十件一〇〇、〇〇〇円、災害被災世帯一件一〇、〇〇〇円、在宅介護者リフレッシュ事業七〇、〇〇〇円、障がい者施設に五〇、〇〇〇円、冬期除雪活動支援に五〇、〇〇〇円配分いたしました。

## 令和四年度 福祉のまちづくり支援事業 助成事業募集の件内

### 助成事業募集の件内

岩手県共同募金会では、地域において身近な福祉課題に取り組んでいる団体や住民に向けた

福祉サービスを行う団体の、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を支援し、住民参加による福祉コミュニティづくりを推進するため次の助成事業を募集します。

**事業実施期間** 令和四年四月一日から令和五年三月三十日まで

**助成団体** 地域の福祉向上を目的に活動する県内のボランティア・NPO団体や町内会・

自治会等任意の住民グループ

**申請期限** 令和三年十二月十五日(水)

**助成金額** 二〇万円以内

**助成例** サロンで使う輪投げセット（単位老人クラブ）・行事用テントの整備（自治会）など

詳細については、社協本部（電話八五二三二二五）までお問い合わせください。

## 第七十四回 岩手県社会福祉大会

十一月一日に岩手県民会館において岩手県社会福祉大会が開催されました。今年度も式典のみの開催となりました。

多年に渡り社会福祉の向上に尽力された方が表彰されました。本町から表彰者は次の方になります。

受賞おめでとうございます。

### 〔永年勤続功労者〕

西和賀町社会福祉協議会職員

佐々木 幹子 氏

### 〔永年勤続功労者〕

**ご寄付ありがとうございました**

株式会社 田中建設様

五〇〇、〇〇〇円

匿名 一六一、五七五円

一〇、〇〇〇円

## 福祉展示会を開催しました

西和賀町社会福祉協議会では令和三年十月十二日から十七日まで「まちなか交流館」にて福祉展示会を開催いたしました。町内の保育所、保育園、町内各学校、福祉施設等の皆様にご協力いただき、沢山の展示品を飾ることができました。

町内福祉団体の活動紹介や、福祉協議会の事業紹介もさせていただきました。この展示会を機にたくさんの方に町内の福祉活動を知っていただき、誰もが安心して暮らせる西和賀を目指して、今後も活動していきたいと思います。

期間中、皆様から赤い羽根共同募金にご協力いただきました。ありがとうございました。

他にもたくさんの作品を展示させていただきましたが、紹介できなくてすみません。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

## 西和賀町老人クラブ連合会女性部 ゆうあい健康芸能まつりを出演

十月二十日(水)、北上市芸術文化協会主催、北上市老人クラブ連合会主音で開催された『ゆうあい健康芸能まつり』。毎年その芸能まつりに町老人クラブ連合会も出演させていただいております。

この『ゆうあい健康芸能まつり』は、老人クラブ会員が一堂に集い、日頃から修練している踊りや唄等の発表を通じて、おおいに笑い、明るく楽しいひと時を過ごすことにより、文化の向上と明日への活力を養うことを目的としています。

今年は、町老連女性部十四名が、寸劇「ばっぱの昔かだりう猿と雉の作わけ」、西和賀ご当地体操の二演目に出演しました。寸劇は、西和賀

の昔話を演劇用にセリフをつけてアレンジしたものを使用しました。会員の皆さんのが忙しい合間をぬって練習を重ね、衣装を手づくりしました。西和賀弁のセリフは他の地域の方々にも好評で、町老連の寸劇を楽しみにしている方も多いようです。何より、出演している会員も楽しんで準備から本番を迎えることが出来、大成功に終わりました。



た。

## 西和賀町身体障害者協会研修旅行を実施

十月二十一日(木)、町身体障害者協会は、陸前高田市にある東日本大震災津波伝承館への研修旅行を実施しました。

参加者は、会員やその家族、合計七名と、人数はやや少ない研修となりましたが、天気も良く、とても充実した研修となりました。

東日本大震災津波伝承館は、津波被害の歴史や被災した実際の物の展示、命を守るために教訓を共有するコーナーがあり、震災について詳しく知ることが出来る施設となっていました。伝承館を含めた一帯は「高田松原津波復興祈念公園」となっており、被災した気仙中学校やタピック45（旧道の駅高田松原）なども近くに残っており、追悼の広場から眺めることが出来るようになっていました。

参加した方々のほとんどが追悼の広場まで行き、海や近隣の震災遺構を見て、「このキレイな海が大きな津波を起こし、たくさんの人命や建物を奪っていったんだな」「おつかねがつたべな」と話されていました。



## 西和賀町老人クラブ連合会 「高齢者の体力測定」事業を実施

十月二十五日(月)、沢内農業者トレーニングセンターを会場に、体力測定事業を実施しました。

この体力測定事業は毎年開催しており、六種の項目(握力・上体起こし・長座体前屈・開眼片足立ち・10m障害物歩行・六分間歩行)を測定するものです。競うのは隣で測定している人ではなく、前回測定した自分です。体温・血圧だけでなく、日常生活活動テストや健康状態のチェックも行い、今の自分の体力を知り、今後の体力保持に役立てるなどを趣旨に実施しています。

当日は四十六名とたくさんの会員に参加して頂きました。  
結果は西和賀町生涯学習課の方々に一人一人まとめていただき、後日個人にお知らせしました。

今回はケガもなく、無事終了することが出来ました。



西和賀町社会福祉協議会では西和賀町の一人暮らし高齢者さんへ元気を届けようと、西和賀高校の生徒、町内学童クラブに通う児童、ボランティアの皆さん、約六十名に協力していただき、合計三一〇枚の絵手紙を描き、十月、民生委員にご協力いただきながら、絵手紙を届けました。



ボランティアさんによる宛名書き

\*\*\* 絵手紙を受け取った方々の感想を一部紹介します \*\*\*

- (80代女性)：こうゆうの大好きだ。とっても嬉しい! ありがとう!!  
(70代女性)：いつも一人だから絵手紙をテーブルに置いて眺めるとほっこりあったかい気持ちになるのでとっても嬉しい。  
(80代男性)：まだまだ現役で頑張っていると子ども達に伝えてください。  
(90代男性)：今の子ども達は絵がうまいんだな～。ありがとう。

## 元気を届けようプロジェクト

## キャップハンディ体験・福祉学習会

九月十三日(月)に湯田小学校四年生を対象にしたキャップハンディ体験を行いました。車いす体験や白杖体験では、ちょっとした段差や障害物があると、子ども同士声を掛けあい相手を思いやる行動をしているのが見られました。高齢者体験では視野狭窄のゴーグルや関節へのサポーター着用で可動域を制限しました。「お年寄りはちょっとした事をするにもこんなに大変なんだ」と感想を言い合っていました。

キャップハンディ体験を学習した後に、福祉学習会がおこなわれました。体験したことを子ども達の言葉でまとめた物を発表していただきました。どの発表も、体験しての感想だけではなくそこからハンデを持った方たちがどのような社会になれば生活しやすいか等、一歩踏み込んだ発表を行っていました。その後の質疑応答では事前にいただいていた質問に聴覚障がい者の職員が答える時間がありました。自分とは違う生活やどのような人でもハンデを背負ってしまう可能性があることを聞き、「困っている人がいたら勇気をもって声をかけてみたい」といった声が聞こえてきました。従来のキャップハンディ体験では、

体験をして終わりでしたが、体験をして気付きをまとめて発表を行うことで学びが深まり担当職員から発表のフィードバックをもらうことで子ども達の福祉に対する興味関心をより現実的かつ身近なものとして感じてもらえたのかなと思っています。今回福祉学習会に招待していただいたことで、新しい福祉教育の形を見つけることができたと思っています。

今後も、キャップハンディ体験等の福祉教育を推進していくます。



## 地域座談会

にしわが 福祉だより No.75

西和賀町社会福祉協議会では、十月四日に湯之沢地区、七日に櫻沢地区を対象に座談会を開催いたしました。地域の実状に合わせた事業を推進するため町民の皆さんに社会福祉協議会の事業の紹介や地域の困りごとの聞き取りを行いました。

地域サロンの紹介では、「うちの地区ではまだまだ元気で忙しい人が多いからまだ必要ないよ」と言う意見や、「みんなで集まってご飯食べたりバスハイクに行くことが楽しいからやってみたい」と言つた意見があり地域ごとに多様な反応や意見がありました。

また、西和賀町にはお出かけバスがあるが、高齢者はお出かけバスが来るところまで歩いていけないため、福祉タクシー等を社協が中心となつて導入できないかと地域課題に踏み込んだ意見を聞くことができました。

皆さんからいただいた意見を基に、新しいサービスの開発や地域の皆さんと協力して事業を推進していきたいと考えております。

西和賀町社会福祉協議会では、十月四日に湯之沢地区、七日に櫻沢地区を対象に座談会を開催いたしました。地域の実状に合わせた事業を推進するため町民の皆さんに社会福祉協議会の事業の紹介や地域の困りごとの聞き取りを行いました。

地域サロンの紹介では、「うちの地区ではまだまだ元気で忙しい人が多いからまだ必要ないよ」と言う意見や、「みんなで集まってご飯食べたりバスハイクに行くことが楽しいからやってみたい」と言つた意見があり地域ごとに多様な反応や意見がありました。

また、西和賀町にはお出かけバスがあるが、高齢者はお出かけバスが来るところまで歩いていけないため、福祉タクシー等を社協が中心となつて導入できないかと地域課題に踏み込んだ意見を聞くことができました。

皆さんからいただいた意見を基に、新しいサービスの開発や地域の皆さんと協力して事業を推進していきたいと考えております。

## 学童の様子

湯田小学校に隣接する湯田学童では、常時十名から十六名の児童が利用しています。一年生は一五時二〇分に下校し宿題を済ませ遊んでいます。今のブームは、「オセロ」で少ない人数ながらも対戦相手を変えながら楽しんでいるようです。

二年～六年生が一六時二〇分過ぎに下校してきます。全員揃つたらおやつの時間です。子ども達の栄養を考えたおやつを提供しています。

学童は学校生活とは違う一面が見られます。静かに読書をして過ごす子もいれば、友達とボール遊びをして汗だくになる子もいます。同じ学年の子と遊ぶだけではなく上級生、下級生と関係なく一緒に遊び、楽しく交流が計られています。

父母の皆様、学校の先生方と協力をしながら子ども達の健全育成を図り、怪我のないように努めていきたいと思います。



## 介護職員・学童保育指導員 職員募集

西和賀町社会福祉協議会では、介護職員・学童保育指導員を募集しています。資格がなくても、入社してから資格取得の支援も行っております。

詳細については、西和賀町社会福祉協議会本所（電話85-3225）までご連絡ください。

介護の仕事や学童の仕事に興味のある方、ぜひお待ちしております。

**随時募集しています。**



# 西和賀町 チャリティーショー

2021年

12月5日(日)  
銀河ホール

[入場料](自由席)

大人 300円 小中高校生 100円

- ・入場券は11月17日(水)から社会福祉協議会(沢内本部・  
悠々館)で販売いたします。
- ・自由席ですが、間隔を開けてお座りいただくため  
全135席の販売です。
- ・当日、体調がすぐれない場合はご来場をお控えください。  
入場の際、お座りいただいた座席とご氏名、ご連絡先  
を記載いただく用紙を配布いたします。ご記入の上、  
終演後にご提出いただきますので予めご了承ください。  
出演団体については全戸配布するチラシをご覧ください。

主催 西和賀町チャリティーショー実行委員会  
お問い合わせ  
西和賀町社会福祉協議会  
電話 0197-85-3225